

「市役所機能再配置に関する意見交換会」の概要

1 日時

平成18年9月9日（土）午後6時30分から8時15分

2 場所

厚生会館中ホール

3 出席者

(1) 行政機能再配置検討市民委員会委員

ア 小川委員

イ 鯉江委員

ウ 外山委員

(2) 長岡市

山崎総務部長 磯田都市整備部長 田口行政管理課長（説明ほか）

(3) 市民

約100人

4 次第

(1) 山崎総務部長 あいさつ

(2) 中間報告内容 説明

(3) 市民委員のコメント

(4) 意見交換

5 内容（要旨）

(1) 市民委員のコメント

①小川委員

- ・ 本庁舎を中心市街地に動かしたときの経済波及効果もコスト比較にいればよかったのだが、難しい面があり実現しなかった。
- ・ 中心市街地の施設は老朽化が進んでおり、今回の市役所配置を起点として様々なストックの更新が進む可能性がある。
- ・ 合併で膨らむ要素、「小さな政府」の推進で縮小する要素の両方を考えた

とき、これからは行政機能を一つの建物に配置するという考え方は難しい。予め分散配置を志向するという考え方もあると思う。

- ・ 造形大学の学生は、高層庁舎を中心市街地に建てるのではなく、大手通りに横に寝かしたように配置する「回遊型庁舎」を提案している。
- ・ そのような形で行政庁舎が配置されることで、バリアフリーやユニバーサルデザインといった、だれもが利用しやすいまちづくりに繋がる効果も期待される。
- ・ 分散して配置する場合、来庁者が迷うようでは困る。まちなかでの配置が一目でわかるような仕掛けが必要。
- ・ 長岡は雪が降る。人口が減少するなかで高齢化が進めば、中心市街地に再び人が集まってくる可能性は高いと考えているし、実際マンションには高齢者の方がかなり住んでいる。
- ・ そのためにも、中心市街地をバリアフリー化して、だれもが便利に利用できるようにする必要がある。
- ・ 開かれた市役所というのは、だれもが利用しやすい市役所であるということ。今の市役所や議会はちょっと入りにくい。議会ももっと入りやすい雰囲気求められる。
- ・ 職員と市民が同じレベルにいと、市民のなかで何が行われているか見えるようになる。そういうことから、行政と市民が一体となってまちづくりに取り組んでいくという形が生まれる。
- ・ 市民センターのおもしろいところは、公共を含む様々な機能が、見わたせる一つのフロアに同居していること。もともと用途の違う建物を市役所に転用したときの面白さを感じた。市役所がそのようになっていくといいと感じる。

②鯉江委員

- ・ 公共性の高い市役所のような施設は、すべての人が行きやすいという意味で人口の重心に、交通の利便性からは交通の結節点に、その2つの意味から中心市街地という選択になる。
- ・ 反面、通常必要となるようなサービス機能は、支所でしっかり確保する必要がある。
- ・ このままいくと、長岡の中心市街地はどんどん寂れていってしまう。
- ・ 市役所が配置されることにより、治安確保などの面でも効果がある。
- ・ 市役所に複数の用事があってくる人は少ない。利用特性を十分考慮した、庁舎の分散と集中を検討する必要がある。
- ・ 交流人口は一過性。生活者を増やしていかないと、経済効果は生まれない

と考える。

- ・ まちなかでは渋滞も心配。交通マナーも改善する必要がある。

③外山委員

- ・ 合併地域からバス一路線でいけるのは中心市街地。財政面でも国の補助金等で負担が少なくて済む。
- ・ 信濃川とJRで仕切られた中間が中心市街地。こういった特性も考慮し、道路も整えれば中心市街地が一番望ましい。
- ・ 現在の中心市街地は少しさびしくなった印象があるが、合併した地域住民も長岡の中心地は栄えて欲しいと思っている。中心市街地があつて、地域も発展する。
- ・ 今の社会福祉センターの位置は不便。そのことも考える必要がある。
- ・ 行政庁舎は制限が多い。これまでの市役所の硬い概念を払拭した、便利な使い方ができるのがこれからの市役所。
- ・ 垣根がなく、利用しやすく、また行ってみたい。そしてバリアフリーにもなっている。そういうことがこれからの行政庁舎に求められると考えている。

(2) 市民の意見

① 旧長岡地域 男性

- ・ 中心市街地への配置が前提となっていることに疑問を感じる。
- ・ 分散や交通利便性、耐震性など市役所の問題はわかるが、だからといって中心市街地に市役所を配置しなければならないという必然性はない。
- ・ 分散で分かりにくいという点は、分かりやすく周知徹底することで、交通利便性は、窓口サービスを中心市街地に配置すれば対応が可能。
- ・ 柳原分庁舎敷地の売却なども加えていることから、コスト比較の内容には疑問がある。

② 越路地域 男性

- ・ 昔からの中心地で、長岡の顔である大手通地区に市役所をもってくるのは、中心市街地の活性化にも大きな意味があるし、バスや電車を利用する市民には大変便がいいと考える。
- ・ 広域地域のサービスを維持するために、支所の機能は縮小しないでほしい。

- ・ 駐車場は必要だが、新たに負担して作るばかりではなく、工夫して確保してほしい。
- ・ お金をかければよいというものではなく、市民サービスを中心に考えた庁舎を作ってほしい。
- ・ 厚生会館の建替えについては、アルビレックスなど一流のプレーヤーの試合がいつでも見られるようなものを考えてほしい。

③ 旧長岡地域 女性

- ・ 祖母が唯一自力でいけるのは中心市街地。そういう場所に庁舎を配置するということには賛成。
- ・ 人が行きかう場所には店が出て町ができていく。市役所の配置を起点として、新たな出店があるといいと思う。
- ・ 駐車場については、1時間無料とか、その後の料金も安くするなど、利用しやすくなるように配慮してほしい。

④ 寺泊地域 男性

- ・ 寺泊地域からバス一路線で行くことができるのは中心市街地。
- ・ 長岡駅は長岡城の本丸跡という歴史のあるところであり、新しい長岡の顔となるところだと思っている。
- ・ 今後、いつ車椅子を使う状況になるか分からない。そういう意味でも、交通利便性のいい駅の周辺に市役所を配置して欲しい。

⑤ 身体障害者団体 男性

- ・ 庁舎の具体的なイメージはまだわからないが、中心市街地に置いてほしい。
- ・ 足が不自由な方は車で来庁する。そのような方たちに特別な配慮をしてほしい。
- ・ 中心市街地では高齢者や障害者、子供たちのために、バリアフリーを考えた施設づくりをしてほしい。
- ・ 中心市街地に広い建物を作るのが一番いいと思う。私たちも夢を描いている。

⑥ 旧長岡地域 男性

- ・ 支所機能が本庁に移動したり、分散している機能が中心市街地に集約され

た場合、駐車場は300台では不足する。また、無料ということになれば、市役所に用がなくても停める人がでてくる。見通しが甘いのでは。そういうことから、全体の数字自体も本当にこれで正しいのか疑問がある。

⑦ 旧長岡地域 女性

- ・ 箱物だけでなく、みんなが憩える緑の空間を整備してほしい。
- ・ コストなども踏まえ、中心市街地に新しく庁舎をつくるのが適していると思う。
- ・ 現在の厚生会館は、バリアフリーやトイレなど、利用していただく方に恥ずかしい面がある。はやくきれいにして、みんなが気持ちよく使える施設にしてほしい。

⑧ 旧長岡地域 男性

- ・ 中心市街地の活性化については、将来の30年50年先を踏まえた計画にしてほしい。
- ・ 新聞で一部の市議員が反対しているという記事を見た。このなかにも市議員の方が何人かおいでだが、中心市街地の活性化に力をいれていただきたい。
- ・ 地下駐車場は県から無料で払い下げを受けて活用するとともに、民間駐車場の料金を下げさせるように努力してほしい。
- ・ 厚生会館地区に市役所と新たな機能を整備していただくよう要望する。

⑨ 旧長岡地域 男性（⑥と同一）

- ・ 文化創造フォーラムは130億円という事業費があまりにも巨大だということをつぶれた。今回の計画では市役所と平成の公会堂で150億円という大きな額となる。よくよく考えていただきたいというのが、市民全般の願いだと思う。

⑩ 商工団体 男性

- ・ まちづくり交付金などのコスト面や、にぎわいなどの波及効果を考えれば、市役所を中心市街地に持ってくることは賛成。
- ・ 合わせて商業振興策を進めていくことが大切だと思う。
- ・ 市民センターの会議室を便利に利用しているが、新しいものになって料金が上がるようなことが無いように配慮して欲しい。

- ・ 駐車場については、現在でも無料のところは混雑している。今後の波及効果を考えると利用が増えることも見込まれるので、見積もりは見直したほうが良いと思う。

(3) 行政側応答

① 山崎総務部長

- ・ 今回の意見交換会は、市民委員会の中間報告をもとに意見交換しようという趣旨であり、中心市街地への配置を前提としているわけではない。
- ・ コストシミュレーションについては、これ以外にも様々なバリエーションがあると認識しているが、問題点がわかりにくくなることから、中心的なものについて掲げている。
- ・ 支所機能については、合併協議会で支所のサービスは低下させないと明文化されており、これを守りたいと考えている。
- ・ 今回は市役所の問題が中心だが、まちづくりの観点も大きな課題だと思っている。例えば駅をはさんで東西の交通を便利にしようと都市整備部で取り組んでいる。バリアフリーも進める。そのようなまちづくりの観点を合わせて検討していく必要があると考えている。

② 磯田都市整備部長

- ・ 先般、アルビレックスの試合では大変多くの方が中心市街地に集まった。厚生会館の建替えにあたっては、そういうイベントが毎週行われるようなものを望んでいる。
- ・ 中ホール規模のホールも3つくらい作って、高齢者のダンスなど趣味の会合などに使っていただければと考えている。
- ・ そのほかに、厚生会館地区に屋根つきの広場を作って、雨や雪が降ったりしても、フリーマーケットやコンサートなどが常時行われるようなスペースをホールと一体で作っていかれたらと思っている。
- ・ 市民が大勢集まる場所に職員が参加させてもらい、交流できるような形になると、まち全体のエネルギーがわいてくるのではないかと期待している。
- ・ 駐車場については、すべてのケースを詳細にシミュレーションしているわけではなく、代表的なケースで現在考えられるところをお示ししている。
- ・ 幸町の庁舎では、平常時でおよそ250台停まっている。ほかに公用車が

50台あり、大体300台が中心市街地で必要になると見込んでいるが、具体的にはこれから詰めていく必要がある。

- ・ 現在中心市街地には公共駐車場が431台、民間駐車場が約2000台ある。これらの稼働率は、平日で2割、土日で5割といったところである。
- ・ 現実的には土日であっても半分くらいが空いているわけだが、これどのように有効利用するのかが、駐車場問題の鍵になると思う。
- ・ 市役所の駐車場では、窓口のスタンプがある場合に無料などといった管理を行うことになると思う。この場合、10分、20分といった細かい管理ではなく、他の用が若干足せるような緩やかな時間管理をしたいと考えている。
- ・ バリアフリーは絶対に忘れないようにしたい。ユニバーサルデザインという観点で、高齢者、障害者だけでなく健常者も、若者も子供も、あらゆる市民が利用しやすいように考えていきたい。
- ・ 緑の空間については、厚生会館地区の整備のなかで屋根付き広場や屋上庭園、壁面緑化などで広がりを考えていきたい。また、操車場地区に防災公園という緑の広い空間をつくる計画もある。
- ・ 現在の駐車場は、市役所だけであれば通常満杯になることはない。日中に隣接する市立劇場でイベントがあるときには不足する。
- ・ ピークに合わせて駐車場を整備したらどうかという考え方もあるが、経済性から、通常時をベースとして、ピーク時は既存のものを活用したらどうかと考えた。
- ・ 仮に中心市街地に庁舎を配置する場合、駐車場は市民の皆さんにご迷惑をおかけしないように、きちんと整備してゆくつもりである。
- ・ 市役所に用事を足しながら、他の用事も足していただけるような駐車場のあり方を、料金も含めて新しい考え方を取り入れていきたい。

以上